

第3期（2027年度・2028年度）在外研究奨励フェローの 募集期間について（予告）

数理科学振興会共同事業
担当理事 鎌田 聖一

日本数学会と数理科学振興会との共同事業として発足いたしました在外研究奨励フェローは、今年度2年目を迎えて、第1期（2025・2026年度）および第2期（2026・2027年度）の計8名がフェローとして研究活動に従事しています。ご協力いただいた関係各位に、心より御礼申し上げます。

数理科学振興会共同事業ウェブサイト
<https://www.mathsoc.jp/section/msp/>



現在、第3期（2027・2028年度）の在外研究奨励フェローの募集に向けて準備を進めており、近く募集を開始する予定です。本フェロー制度への応募には、海外研究機関に所属する研究者からの推薦状が必須となっております。その準備期間等を考慮し、第3期フェローの募集期間は下記のとおり予定しております。

募集期間：2026年9月1日～12月15日

正式な募集期間および募集要項等の詳細は、追って日本数学会のホームページに掲載いたしますので、ご確認いただければ幸いです。また、『数学通信』次号（11月号）にも募集要項を掲載する予定ですので、併せてご覧ください。

2025年度からは、海外研究機関への渡航・滞在にかかる費用を考慮し、フェローに支給する奨励金を増額改訂いたしました。海外で研究を行う、あるいは海外の研究者と共同研究を行う意欲のある若手研究者からのご応募を、心よりお待ちしております。

なお、今回も応募には海外研究機関に所属する研究者の推薦状が必須となっております。応募を検討されている若手研究者の皆様、また応募を勧めようとしている研究者の皆様には、早めのご準備をお勧めいたします。